

《企業紹介》

同社は小売業でベトナム最大の企業グループである。スマートフォンなどのモバイル情報機器を販売するテーゾイジードン（TGDD）、家庭用電気製品を販売するディエンマイサイン（DMX）、ベトナム南部を中心に小型食品スーパーを展開するバックホアサイン（BHX）の3つの小売チェーンを中心に小売業を展開している。近年では医薬品小売事業（アンカン）やマタニティ用品（アバキッズ）へ進出するなど、業態の多角化にも積極的に取り組んでいる。

《2025 年 4－6 月期業績》

2025 年 4－6 月期の売上高は前年同期比 10.2%増の 37.6 兆 VND（ベトナムドン）だった。TGDD と DMX 合計の売上高は同 9.5%増の 25.1 兆 VND となった。2025 年 6 月末の合計店舗数は同 3.2%減の 3,038 店舗だったが、既存店売上高が同 12%の増加となっている。既存店売上高の好調は、家電製品の品揃え拡充による販売シェア拡大やサービスの充実によるものとみられる。家電製品の販売では引き続き高水準の競争力を維持しているようだ。

その他の売上高は同 10.6%増の 12.3 兆 VND となった。都市部を中心に新店ニーズが堅調だった BHX の 2025 年 6 月末の店舗数が同 28.4%増の 2,184 店舗となったことが貢献している。医薬品小売事業のアンカンとマタニティ用品のアバキッズは、引き続き店舗当たりの売上高の増加に注力しているが、双方ともに前年同期比で回復がみられた。

新規出店や構造改革コスト負担が大きいために利益率の低い BHX を中心としたその他の売上高の構成比上昇、家電製品の販売競争激化になどよって、粗利益率は同 1.3%ポイント低下の 20.1%となり、粗利益は同 3.6%増の 7.5 兆 VND となった。しかし、ほとんどの業態で既存店売上高の増加による店舗の生産性改善が進んだために販売費と一般管理費の合計は同 0.6%増の 5.9 兆 VND にとどまったこと、金融収支の受取超過額が前年同期の 2,864 億 VND から 3,664 億 VND に増加したことが貢献し、税前利益は同 33.8%増の 2.0 兆 VND となった。税引後利益は同 40.6%増の 1.6 兆 VND となった。

図表1 四半期業績の推移（単位 十億VND）

	2024年4－6月期		2024年7－9月期		2024年10－12月期		2025年1－3月期		2025年4－6月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	34,134.1	15.8	34,146.7	12.7	34,573.9	9.2	36,135.0	14.8	37,620.0	10.2
売上総損益	7,307.7	34.3	6,891.9	21.4	6,587.0	6.5	7,200.4	7.3	7,568.7	3.6
（売上総損益率%、%ポイント）	21.4	2.9	20.2	1.4	19.1	-0.5	19.9	-1.4	20.1	-1.3
金融収支（マイナスは収入）	-286.4	-	-244.9	-	-446.6	-	-354.3	-	-366.4	-
販売費	5,056.4	-3.0	4,849.0	-8.8	5,123.1	-8.6	4,403.0	-8.7	4,703.3	-7.0
一般管理費	813.3	254.9	967.6	183.3	916.4	236.6	1,214.6	39.9	1,201.7	47.7
税前利益	1,516.0	1,068.1	1,068.0	486.8	1,035.5	373.0	1,934.7	60.4	2,028.2	33.8
税引後利益	1,172.3	6,635.3	800.1	1,965.5	847.0	838.4	1,545.9	71.3	1,648.1	40.6

出所 各種データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長（金商）第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より 180 日

News20250731

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク（カウンターパーティリスク）、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

モバイルワールド（MWG）



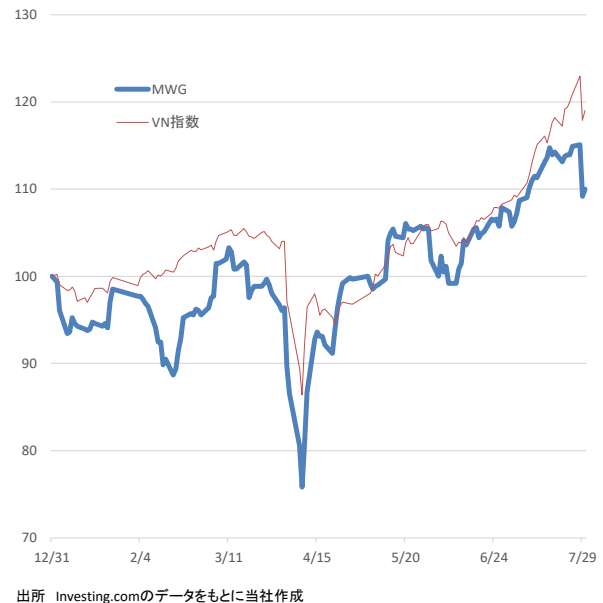
《株価の動向》

図表 2 は同社の株価と VN 指数の 2024 年末終値を 100 として指数化したものである。同社の株価は 4 月下旬からキャッチアップの動きを見せたが、VN 指数のパフォーマンスを上回るには至っていない。7 月 30 日時点の 2024 年末比上昇率は VN 指数が 19%、同社が同 10%となっている。7 月 30 日終値 67,100VND で計算した同社の時価総額は 99.2 兆 VND で、これは 2024 年 12 月期の税引後利益実績 3.7 兆 VND の 27 倍となっている。

同社は、2025 年 12 月期の売上高を前期比 12%増の 150 兆 VND、税引後利益（少数株主持分控除前）を同 30%増の 4 兆 8,500 億 VND としているが、2025 年 1-6 月実績の進捗率は売上高が 49%、税引後利益（同）が 66%と、特に税引後利益（同）の進捗率が高水準となっており、収益力の改善は会社想定を上回って順調に進捗していると考えられる。足

元では住宅販売について、内需拡大策を進める政府の後押しによる需要回復が見込まれ、住宅販売が回復すれば、当然ながら白物家電や AV 製品、情報家電の需要拡大が期待できる。また、業績回復が加速すれば出店攻勢を軸とした成長戦略への転換も視野に入るだろう。これらが株価パフォーマンスに影響をもたらす可能性があることから、引き続き月次販売や四半期決算の動向に注意が必要だろう。

図表2 株価推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20250731

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。